

令和 8 年度
第 1 回 家庭教育支援連絡会 会議録

1 日時

令和 8 年 7 月 8 日（水）午後 3 時～4 時

2 場所

市役所 議会棟 5 階第二委員会室

3 出席委員

権永委員長、九条委員、的場委員、岩本委員、片岡委員、東田委員
石村委員、川原委員

4 事務局

佐々課長、三好副係長、川上、西岡

5 会議次第

(1) 開会

- ① あいさつ
- ② 自己紹介
- ③ 委員長、副委員長選出（権永委員長・木場副委員長に決定）

(2) 案件

- ① 家庭教育学級について
- ② 寝屋川市家庭教育サポートチームについて
- ③ ねやがわ子どもフォーラムについて
- ④ その他・情報交換

会議録

1 開会

社会教育推進課三好副係長より連絡会の概要説明後、各委員の自己紹介を行うと共に、委員長、副委員長の選出を行った。

2 案件

(1) 家庭教育学級について

家庭教育講座

全 23 小学校で開催する。

講座の内容は、SNS など「家庭での情報モラル」が人気。既に 6 校で開催した。残る 17 校に関しても、インターネット関係の講座希望が多い中、児童の発達や心理状態に関する講座希望あり。

(2) 家庭教育支援者スキルアップ講習会

市内の家庭教育支援者、またこれから家庭教育支援者として活動する方を対象に、スキルアップを目的として実施。講習会受講者の中から、次年度の「家庭教育サポーター」の希望者を募り、活動していただくことを目的としている。時期は令和 9 年 1 月と考えているが、内容は検討中。

3 寝屋川市家庭教育サポートチームについて

家庭教育サポーターの活動実績について説明。

今年度は全 23 小学校に各 1 名、エリア担当として 1 名を任命し、新サポーターの配置校等を巡回していただいている。地域や関係機関と連携しながら、保護者の良き相談相手になり、家庭の健全化を図り、子どもの生活改善につながるよう活動していく。

4 ねやがわ子どもフォーラムについて

- ・開催概要の説明（開催日：令和 9 年 2 月 13 日（土）を予定）
- ・家庭教育支援連絡会委員の所属団体にも周知を依頼していく。

5 その他・情報交換

【子育て支援課】

子育てリフレッシュ館に市内外問わず、利用者が来館。その中でも枚方市在住の親子が利用されます。遠いところで大阪市内から来てくれます。他市なのになぜ利用してくれるのかお尋ねすると、0～3歳児が遊べる施設があまりないということで来館されます。

また、駅前図書館ができ、子育てリフレッシュ館の利用者が減少すると予想していましたが、相乗効果で利用者が増えています。

【こどもを守る課】

主に就学時の子育て相談、虐待関係の業務をしているので、引き続き各関係機関と連携を図りながら行っています。

また、こども家庭センターのねやっCo相談ステーションを、サービスゲートの7階に設置しているので、周知していきたいと思っています。

【家庭教育サポーター】

・10年前と比較すると不登校児童が増えていると感じます。以前であれば、ゴールデンウィーク明けから増加していましたが、一週間登校しないことが普通になっており、学校が嫌いという休みの児童が各クラスに1～2人はいる状況です。その中でサポーターは何ができるのか考えた際に、タイミングが合えば保護者の方に自己紹介をさせていただき、いつでもお話を聞きますよと声掛けをさせてもらっています。すぐに解決しないこともあります。小さな活動の積み重ねをさせてもらっています。

・発達に課題がある児童に対しどうすればいいのか悩んでいる家庭が多く、その家庭に対しどのように関わればいいのか悩んでいます。様々なところに繋げられるよう知識をつけたいと考えています。

・現在の配置校では先生方の支援体制が整っていると感じています。各先生方がトランシーバーを用いて、児童が校門まで来ているので教室に連れて行ってほしい等、密に連絡を取り合っているため、このような環境があるのはすごいと感じています。

・今年度から地域の保育園で働いていた人が児童指導員をしており、保育園児だった児童の様子等を理解してくれているのでとても心強いと感じています。また、最近では心情をお話してくれる保護者の方がいます。私が話を

聞くことで少しでもリフレッシュができれば良いなと思いながら活動しています。

【保育所所長会】

保育所は保護者の方が送迎で、毎日お会いしているため異変があると何となく分かります。声をかけるタイミングが難しいときもありますが、子どもにとってどうなのかを考えた際に時間を取らせていただき、お話をさせていただいています。家庭教育サポーターからのお話を聞き、保育所を修了し小学校へ行った際に、楽しく居心地の良い生活をしていくためにはどうすれば良いのか考えていかなければならないと感じました。

【幼稚園園長会】

小規模校のため園児にきめ細かく対応できるが、団体行動ができるか心配なところがあります。そのため、どっちどっちタイムを取り入れ、自分の気持ちを相手に伝える練習をしています。